

第20回南多摩保健医療圏地域保健医療福祉フォーラム 発表区分のテーマについて

① 誰もが住み慣れた地域での生活を送るための地域包括ケアの推進(在宅療養・地域生活移行の推進)

高齢になっても、障害や疾病があっても、誰もが相互に尊重し、支えあいながら、ともに生活する地域共生社会の実現が重要となっています。

特に、これまで施設入所や社会的入院を余儀なくされている人達の地域生活への移行の促進、障害者が地域で安心して暮らせるような地域生活への支援、重症心身障害児や医療的ケアを必要とする障害児への支援等、高齢者及び障害者施策の充実が必須です。

また、近年は生活習慣病が死因の上位を占め、その中でもがんは死因の1位です。

がんと診断された患者とその家族は、大きな不安を抱えながらの治療のほか、生活や仕事や学業等の様々な問題に直面しながら療養生活を送らざるを得ず、その相談支援体制を整備することが重要です。

これらを推進するための取組や具体的な事例を発表していただき、意見交換等を行い、共有することにより、圏域全体の取組の推進につながる一助になればと思います。

高齢者、障害児・者、医療的ケア児、長期療養の必要な人(がん・難病等)に対して支援した事例の報告や関係者との連携・ネットワークの構築など

(事項例)

○退院支援 ○入院中から地域生活定着を意識した支援 ○介護者・家族への支援
○医療と介護の連携 ○病病連携・病診連携、病院と地域の連携
○がん患者・難病患者への支援 ○看取り ○在宅療養環境整備(相談窓口の充実、市民への啓発、資源の整理、緊急時の対応システム など) ○認知症対策
○精神障害者の地域生活移行・定着 ○重症心身障害児対策 ○発達障害(児)者支援 ○在宅療養における摂食嚥下機能支援 など

② 地域における健康づくり・介護予防・虐待予防など予防活動の取組

東京都では、平成25年3月に「東京都健康推進プラン21(第二次)」を策定し、「がんの予防」「糖尿病・メタボリックシンドロームの予防」「こころの健康づくり」を重点課題として、健康寿命の延伸「健康格差の縮小」を図るとしています。

また、高齢者の健康寿命をのばし、生活の質を上げていくためには、生活習慣病予防と介護予防を地域で総合的に展開することが大切です。

さらに、近年の重要な課題として高齢者や障害者、特に小児の虐待対策・予防は、喫緊の重要課題となっています。

これらに対し、「予防」の視点を重視した取組等の発表をしていただき、意見交換等を行い共有することにより、圏域全体の取組の推進につながる一助になればと思います。

予防の視点を重視した事業の取組や事例への関わりなど

(事項例)

○健康づくり・介護予防(フレイル対策)の取組 ○母子保健・子育て支援 ○虐待(児童・高齢者・障害者)の予防・対応 ○感染症の予防対策 ○施設の地域への貢献(通いの場の提供、健康講座、サロンの実施など) ○食環境づくり ○食育 ○たばこ対策
○生活習慣病対策 ○こころの健康づくり
○自殺総合対策 ○アレルギー対策 ○地域の見守り体制の構築 など

③ 地域保健医療推進プランに掲げる様々な取組

東京都南多摩保健医療圏地域保健医療推進プランは、圏域内各市(八王子市・町田市・日野市・多摩市・稲城市)をはじめ、関係機関・団体の協力を得て、圏域の地域保健推進の「指針」となるものとして位置づけ、「住民のいのちと健康を守る」という理念の実現を目指したプランとなっています。

この理念を実現するための様々な取組の発表をしていただき、意見交換等を行い、共有することにより、圏域全体の取組の推進につながる一助になればと思います

(事項例)

上記①②に含まれない取組

○感染症発生時の対策 ○災害への備え・平常時対策 ○災害時の医療・保健活動・要配慮者・避難行動要支援者対策 ○食品・医薬品・生活環境・飲用水等の安全確保対策 ○災害時の動物ペット対策 ○医療安全対策 など

* 演題数は、10題～12題程度を口頭発表とし、その他は誌上発表とする

* 発表区分は、応募者の希望のほか、内容をみて調整する